

様式第 6 法第 48 条第 1 項第 7 号関係（保安林の指定又は解除関係）

森林法第 26 条の 2 に規定する保安林の解除に関する事項

森林の所在場所					全面積	要解除 実測又は 見込面積	備考
市(郡)	(町村)	(大字)	(字)	地番	実測又は見込		
石 巻		寄磯浜	大松	13-1	ha: 0:9819	ha: 0:1177	魚つき保安林
石 巻		寄磯浜	大松	13-3	0:0007	0:0007	魚つき保安林
石 巻		寄磯浜	大松	23	2:1124	0:0089	魚つき保安林
計					3:0950	0:1273	

添付書類

- 1 指定・解除調書
- 2 指定・解除調査地図（ただし、法第 46 条第 2 項第 3 号に規定する土地利用方針に添付する図面等に必要な事項が記載されている場合は省略可能とする。）
- 3 位置図
- 4 その他必要な書類
 - ※ 保安林を森林以外の用途に供することを目的とする場合は以下を添付すること。
 - (1) 転用の目的に係る事業又は施設に関する計画書
 - (2) 転用に伴って失われる当該保安林の機能に代替する機能を果たすべき施設の設置に関する計画書
 - (3) 上記(1)、(2)の事業又は施設の設置について行政庁の免許、許可、認可その他の処分を必要とする場合には、当該処分に係る申請の状況を記載した書類（既に処分があったものについては、当該処分があったことを証する書類）

保安林解除調書

所在場所	流域名	北上川	市町村森林整備計画名	石巻市
	単位区域名	石巻市	管轄森林管理署名	-
	森林計画区名	宮城北部		
	石巻市寄磯浜大松13-1 ほか2筆			
森所有者	権利の種類	所有権		
	住所氏名	牡鹿郡女川町女川浜字女川317 渡邊 淳 ほか2名		
当該森林に関する登記済の権利	権利の種類	根抵当権		
	権利者住所氏名	仙台市青葉区国分町一丁目7-24 宮城県信用保証協会		
保安林	指定年月日	明治30年12月30日		
	指定された目的	魚 つ き		
面積	区分	不動産登記簿	実測(又は見込)	
	保安林面積	3,0950 ha	(実測)	1,5303 ha
	要解除面積		(実測)	0,1273 ha
	残置面積		(見込)	1,4030 ha
保安地	位置	石巻市役所から東南東 〜約20km	地質	中生代ジュラ紀頁岩 砂質壤土
	傾斜	40° ~ 80°	標高	0~40m
林の現況	樹種及び混合歩合(%)	アカマツ 60.0% 広葉樹 40.0%	林齢	アカマツ 90年生 広葉樹 60年生
	疎密度	密		
林の現況	蓄積(ha当たり)	針葉樹 17m3 (245m3/ha) 広葉樹 7m3 (144m3/ha)	生育状況	中
	下層植生	常緑広葉樹		
無立木地面積	0.0096ha			
荒廃状況等	要解除地及びその周辺に荒廃地等はない			

整理番号

治山事業との関係	なし	
受益対象	範囲、種類 数量等	石巻市寄磯浜地区周辺海域
	既往の被災 状況等	特になし
指定施業要件の内容	択伐	
保安林の級別区分	級地・判定の事由：1級地	
	①治山事業施行地ではない。	
	②平均傾斜度は25°以上である。	
	③保全対象に直接重大な影響がない。	
	④海岸に近接して所在し、林帯の幅が150メートル未満である。	
⑤残置・造成森林でない。		
保安林解除を必要とする理由	(1)適用条項：森林法第26条の2第2項(公益上の理由)	
	(2)解除理由：公共住宅用地	
	(3)公益上の理由を認める根拠：復興整備事業(集団移転促進事業：土地収用法第3条第30号で規定される住宅経営に類似)	
	(4)検討の細部：別添付表のとおり	
解除に対する関係者の意見	森林所有者等	同意している。
	受益者	異議なし。
他の法令による森林の施業制限との関係	自然公園法南三陸金華山国定公園第一種、第二種特別地域	
調査者・職氏名 調査年月日	宮城県農林水産部森林整備課治山班 技術主幹 小泉 智 平成25年7月9日 調査	
備考	(1) 不動産登記簿との照合年月日 平成25年7月2日 仙台法務局(本局)	
	(2) 聴取及び現地調査立会人 石巻市震災復興部集団移転対策課 技術主査 小林 渉	

保安林解除調書附属明細書

所在場所			森林所有者		登記済の権利		保安林面積		要解除面積	残置面積	森林の現況	治と山の事関係	指定の施業内容	他の法令による森林の施業制限等との関係
(大字)	(字)	地番	権利の種類	権利者住所・氏名	権利の種類	権利者住所・氏名	不動産簿	実測又は見込	実測又は見込	実測又は見込				
寄磯浜	大松	13-1	所有権	牡鹿郡女川町女川浜字女川317 渡邊 淳	根抵当権	仙台市青葉区国分町1丁目7-24 宮城県信用保証協会	0.9819	0.5611	0.1177	0.4434	アカマツ 90年生 広葉樹 60年生	—	択伐	自然公園法南三陸 金華山国定公園 第一種特別地域
寄磯浜	大松	13-3	所有権	宮城県	—	—	0.0007	0.0007	0.0007	0.0000	無立木地	—	択伐	自然公園法南三陸 金華山国定公園 第一種特別地域
寄磯浜	大松	23	所有権	石巻市寄磯浜前浜29 遠藤 一夫	—	—	2.1124	0.9685	0.0089	0.9596	無立木地	—	択伐	自然公園法南三陸 金華山国定公園 第二種特別地域
計	1字	3筆					3.0950	1.5303	0.1273	1.4030				

事業計画の概要

事項		内容						
申請者	住所	宮城県石巻市穀町14-1						
	氏名	宮城県石巻市長 亀山 紘						
事業者	住所	同上						
	氏名	同上						
転用目的		公共住宅用地とするため						
用地面積 (ha)	用地の現況 転用後の用途	保安林	山	林宅	地	その他	計	
	住宅用地	-	0.51	-	-	-	0.51	
	道路用地	0.03	0.54	0.00	0.06	-	0.63	
	公園	-	0.12	-	-	-	0.12	
	造成緑地	0.10	1.00	0.01	0.17	-	1.28	
	計	0.13	2.17	0.01	0.23	-	2.54	
	工事計画	全体	着工 平成 25 年 10 月 1 日		完了 平成 27 年 3 月 31 日			
		保安林部分	着工 平成 25 年 10 月 1 日		完了 平成 27 年 3 月 31 日			
	所要事業費 (千円)	区分	合計	A	保全施設費		B	B / A
		用地費						
工事費		416,108				172,113	41%	
その他								
計		416,108				172,113		
その他	<p>1 事業の名称 寄磯浜地区防災集団移転促進事業</p> <p>2 事業の規模 施行面積 2.54ha 移転住戸17戸</p> <p>3 代替施設の概要： ・植生工 (植生基材吹付工 7,363.9㎡, 種子吹付工 1,051.7㎡, 客土吹付工 456.3㎡ (ほか)) ・擁壁工 (重力式擁壁 56.8m, L型擁壁 435.5m) ・舗装工 (滑り止め舗装 3,409.5㎡, アスファルト舗装 1,777.9㎡, ダクト舗装 704.3㎡) ・排水工 (U型側溝 1,975.0m, 法面排水 782.0m, 集水枡 108個, 沈砂枡 2個 (ほか))</p>							

事業計画の内容審査結果

事項		意見	理由		
① 事業等の 実施の確 実性の 検討	計画内容の具体性	有 無 (有) 無 全部 一部	東日本大震災復興特別区域法に基づく復興整備計画による復興整備事業で、事業計画について国土交通大臣の同意を取得しており、当該計画は具体的でかつ、確実に実施されるものと認められる。		
	保土する 安地を 林を 使用 する 権利 の 種類	有 無 (有) 無 全部 一部	-		
		権の 種類	所有権 (全部 一部)	-	
			地上権 (全部 一部)	-	
			賃借権 (全部 一部)	-	
			使用承諾 (全部 一部)	用地は全て取得予定であり、平成25年6月10日付けで土地所有者から承諾を得ている。	
			その他	-	
	排除を要 する 権利	有 無 (無)	-		
		(内容)	-		
	保の 関係 取得 状況 の 外 地 等	有 無 (有) 無 全部 一部	-		
		権の 種類	所有権 (全部 一部)	平成16年3月10日及び平成16年9月15日付けで既に取得済。一部法定外道路。	
			地上権 (全部 一部)	-	
			賃借権 (全部 一部)	-	
			使用承諾 (全部 一部)	用地は全て取得予定であり、平成25年6月10日付けで土地所有者から承諾を得ている。	
			その他	-	
排除を要 する 権利	有 無 (無)	-			
	(内容)	-			
用地の 転 用 に 関 係 する 許 可	許認可等の要否	(要) 不要	都市計画法第29条第2項の許可(開発許可)	自然公園法第20条第3項の許可(工作物の新築の許可)	
	関係法令	(内容)			
	手続状況	許認可済・許認可見込 申請書提出済・未提出	平成25年8月16日公表予定の復興整備計画により許認可見込み。	平成25年8月16日公表予定の復興整備計画により許認可見込み。	
事業 の 許 可	許認可等の要否	(要) 不要			
	関係法令	(内容)	防災のための集団移転促進事業に係る国の財政上の特別措置等に関する法律		
	手続状況	許認可済・許認可見込 申請書提出済・未提出	同法第3条第1項の規定による国土交通大臣の同意について平成24年7月9日付けで取得済み。		

事業計画の内容審査結果

事		項		意 見		理 由		
④ 転用による 保安上の影 響の検討	工中対策 用よ被害防除対策	対策の有無		有	無	工事中は、素堀側溝や沈砂池等を設置し、土砂の流出や崩壊を防止する。また、工事後の対策を兼ねる排水工、擁壁工、植生工等を土工後順次施工し、工事後の対策を兼ねる。		
		対策のねらい		適	不適	排水工、舗装工及び植生工により土砂の流出を防止するとともに、擁壁工により土砂の流出を防止する計画である。		
		水処理	水理計画等		適	不適	各水理公式、係数、使用した因子等適切に計算されている。	
			地下排水		適	不適	基礎地盤からの湧水はない。	
			表面排水		適	不適	U型側溝等により集水し、流末排水施設に導水する計画であり適切である。	
			流末処理		適	不適	流末は沈砂柵により土砂の流出を防止し、安全に海及び既存排水施設に流下させる計画であり適切である。	
		土砂流出防止	残土処理		適	不適	残土については132,010m ³ 発生するが、他の復興整備事業の盛土材として使用する計画である。	
			法面保護		適	不適	切土法面勾配は1:1.5とし、植生基材吹付工を施工、盛土法面勾配は1:1.8とし、種子吹付工を施工し、土砂の流出を防止する計画であり適切である。	
			土砂流出量		適	不適	年間土砂流出量を裸地300m ³ /haで算出しており適切である。	
			防止施設		適	不適	仮設の沈砂池等を設置するとともに、排水工、擁壁工及び舗装工により土砂の流出を防止する計画であり適切である。	
	その他		適	不適	なし			
	転用対策	対策の有無		有	無	工事中の対策が転用後の対策を兼ねており、工事中の対策に記載してあるので省略する。		
		対策のねらい		適	不適			
		水処理	水理計画等		適			不適
			地下排水		適			不適
			表面排水		適			不適
			流末処理		適			不適
		土砂流出防止	残土処理		適			不適
			法面保護		適			不適
			土砂流出量		適			不適
防止施設			適	不適				
その他		適	不適	なし				
工事の工程		適	不適	土工事に先行し防災工を施工する計画であり、進捗に応じ排水工等を代替施設を施工する計画であることから適切である。				
代替施設設置の 確 実 性	計画の具体性		有	無	土工の進捗に応じ排水施設や法面緑化等が施工される計画であり、本工事の一環として代替施設が計画されていることから、確実に設置されると認められる。			
	用地取得等		有	無				
	資金関係		有	無				
	その他		適	不適			なし	
土地利用上の配慮		適	不適	造成にあたっては、極力傾斜地を避け沢筋への盛土を避ける等、土砂の流出、崩壊を防止するよう配慮されている。				
結 論		適	不適	計画内容等は適切であり、本工事の一環として代替施設が計画されており、確実に実施されるものと認められる。140、工事中及び転用後の災害の防止対策も適切で、転用後における国土の保全上の影響は支障がないものと認められる。				

事業計画の内容審査結果

事 項		意 見	理 由	
①	資 金 関 係	有 ・ 無	東日本大震災復興交付金による。(平成24年5月25日交付決定,平成25年3月8日変更交付決定。)	
	信 用 状 況	有 ・ 無		
	技 術 の 保 有	有 ・ 無	省略(石巻市が事業主体である。)	
	実 施 上 の 阻 害 要 因	有 ・ 無		
	結 論	適 ・ 不適	石巻市が事業主体であり,当該事業区域に係る用地も確保され,関係法令の許認可も取得見込みであることから,確実に事業が行われると認められる。	
② 他に適地を求めないかどうかの検討	法 令 上 の 制 約	有 ・ 無	東日本大震災により被災した寄磯浜地区の集団移転が目的であり,漁業従事者が多い当該地区の住民の安全と利便性を考慮した場合,既存集落に近接し,漁港へのアクセスが可能で海が見える安全な高台を確保できるのは当該地以外にない,他に適地を求めることは困難である。	
	技 術 上 の 制 約	有 ・ 無		
	現 地 の 適 性	適 ・ 不適		
	結 論	適 ・ 不適	事業の目的から当該申請箇所以外に用地を選定することは困難であり,事情やむを得ないものと認められる。	
③ 面積が必要最小限度であるかどうかの検討	法 令 に よ る 基 準 が あ る 場 合	基 準 の 有 無	有 ・ 無	宮城県土木設計マニュアル,宅地防災マニュアル,道路構造令
		基 準 と の 関 係	適 ・ 不適	各種関係指針及び道路構造令の基準に準拠し設計されたものであり,必要最小限度の面積と認められる。
	法 令 に よ る 基 準 が な い 場 合	(適 ・ 不適)		—
	期 別 計 画 等 と の 関 係	適 ・ 不適	本事業計画が全体計画であり,各種関係指針等に基づく設計であり,必要最小限度の面積である。	
	結 論	適 ・ 不適	本事業は復興整備計画に基づく集団移転促進事業であり,各種関係指針等に基づき設計され,その設計図書等の内容から区域及び面積は必要最小限であると認められる。	
④ 転用による保安上の影響の検討	保 安 林 の 機 能 代 替 施 設	計 画 の 有 無	有 ・ 無	植生工,擁壁工,舗装工,排水工等が適切に計画されている。
		計 画 の 適 否	適 ・ 不適	計画されている代替施設の内容は,保安林の機能の代替として適当である。

防災集団移転促進事業 保安林解除申請箇所位置図
 (牡鹿 寄磯浜地区) S=1:30,000



寄磯浜地区

凡 例	
事 項	記 号
行政区界	— — —
事業区域	— (blue line)
解除申請区域	■ (red square)

記載事項	記載注 意
1 転用の目的に係る事業又は施設の名称	寄磯浜地区防災集団移転促進事業 (事業実施の根拠法令) 防災のための集団移転促進事業に係る国の財政上の特別措置等に関する法律
2 当該事業を行い、又は施設を設置する者の氏名及び住所	(1) 事業主体 宮城県石巻市 (2) 住 所 宮城県石巻市穀町14番1号
3 当該事業等の用に供するため当該保安の林土地を選定した理由	平成23年3月11日に東北地方太平洋沖地震が発生し、震度6強の激しい揺れと、その後の沿岸域全域に襲来した巨大津波は多くの人命と、住まいや公共施設等多くの財産が失われました。この地震と津波により、死者3,145名、行方不明者447名(平成24年12月時点)、全壊家屋22,357棟(平成23年10月時点)が失われました。 寄磯浜地区でも死者7名、60世帯が被害を受け、低平地での住宅再建では安心して安全な生活が確保することは困難と判断し、低平地を災害危険区域に指定し、住民と話し合いながら高台への集団移転をすることが決定しました。 移転地の選定にあたっては、漁業従事者が大多数を占める住民意向を踏まえ、漁港に近くかつ海が見える場所で津波被害が想定されない高台を選定し、可能な限り保安林を回避するよう検討しましたが、漁業従事者にとって重要である漁港へのアクセス路を確保するためには、当該保安林指定地を避けて事業区域を設定するのは困難であることから、やむを得ず当該保安林指定地を選定したものである。
4 申請面積について必要とする根拠	当該地区への移転希望者は17戸となっており、住宅戸数と公共公益施設を確保した2.544haが開発面積として必要になります。 当該地区の設計にあたっては、道路構造令、開発許可制度便覧(宮城県)、石巻市開発指導要綱、宮城県土木設計マニュアル、宅地防災マニュアル等に基づき、石巻市建築指導課や各管理者と協議し設計したもので、被災者の移転先住宅団地の確保として必要最小限の面積としている。
5 当該保安林の土地を使用する権利の種類及び当該権利の取得状況	(1) 権利の種類・取得状況 (別紙1 権利の種類・取得状況明細表のとおり)
6 事業等に要する資金の総額及びその調達方法	(1) 資金の総額 416,107,600円 (2) 資金の調達方法 復興交付金: 416,107,600円 (第2回復興交付金 平成24年5月25日交付決定) (第5回復興交付金平成25年3月8日変更交付決定)

7 事業等に要する経費	(別紙2 事業等に要する経費一覧表のとおり)																																																																																																											
8 事業等に関する工事を開始する予定の日並びに当該工事の工程及び当該工事により設置される施設の種類・規模・構造及び所在	<p>(1) 工事の開始及び完了の予定日 全体 着工 平成25年10月・完了 平成27年3月 保安林部分 着工 平成25年10月・完了 平成27年3月</p> <p>(2) 工事の工程</p> <table border="1" data-bbox="555 577 1337 1227"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">工 種</th> <th colspan="4">H25 年度</th> <th colspan="4">H26 年度</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>7</th> <th>10</th> <th>1</th> <th>4</th> <th>7</th> <th>10</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">土木 工事</td> <td>伐開工事</td> <td></td> <td></td> <td>●●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>切盛工事</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>◆◆</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">植生工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td colspan="2">擁壁工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">舗装工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td colspan="2">安全施設工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td colspan="2">排水工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">防災工事</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>◆◆</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td colspan="2">階段工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">全体 ●——● 保安林内 ◆-----◆</p>	工 種		H25 年度				H26 年度				4	7	10	1	4	7	10	1	土木 工事	伐開工事			●●						切盛工事			●	◆◆			●		植生工事								●	●	擁壁工事							●	●		舗装工事								●	●	安全施設工事								●	●	排水工事							●	●		防災工事				●	◆◆				●	階段工事							●	●	
工 種				H25 年度				H26 年度																																																																																																				
		4	7	10	1	4	7	10	1																																																																																																			
土木 工事	伐開工事			●●																																																																																																								
	切盛工事			●	◆◆			●																																																																																																				
植生工事								●	●																																																																																																			
擁壁工事							●	●																																																																																																				
舗装工事								●	●																																																																																																			
安全施設工事								●	●																																																																																																			
排水工事							●	●																																																																																																				
防災工事				●	◆◆				●																																																																																																			
階段工事							●	●																																																																																																				

8 事業等に関する工事を開始する予定の日並びに当該工事の工程及び当該工事により設置される施設の種類・規模・構造及び所在

(3) 当該工事により設置される施設の種類・規模・構造及び所在

種類	規模 (構造)		所在			
	単位	計	保安林内	保安林外		
排水工	側溝 U形側溝 (300A)	m	1,270.5	26.1	1,244.4	
	側溝 U形側溝 (300A-2)	m	546.4	59.4	487.0	
	側溝 U形側溝 (横断用300A)	m	27.6	0.0	27.6	
	側溝 U形側溝 (歩道用300A)	m	18.2	0.0	18.2	
	側溝 U形側溝 (400A-2)	m	112.3	9.9	102.4	
	ポリコルゲート管 φ300	m	36.3	19.9	16.4	
	ポリコルゲート管 φ400	m	29.2	29.2	0.0	
	小段水路 (A)	m	306.7	30.7	276.0	
	小段水路 (A-2)	m	220.2	9.2	211.0	
	小段水路 (B)	m	96.7	0.0	96.7	
	小段水路 (B-2)	m	6.3	0.0	6.3	
	小段樹 (A)	箇所	15.0	0.0	15.0	
	小段樹 (A-2)	箇所	7.0	0.0	7.0	
	縦溝 (A)	m	111.3	3.2	108.1	
	縦溝 (A-2)	m	20.0	0.0	20.0	
	踊り場水路 (A)	m	9.0	0.0	9.0	
	踊り場水路 (A-2)	m	11.8	0.0	11.8	
	集水樹 300×300×495	個	36	3.0	33.0	
	集水樹 300×300×495-2	個	22	2.0	20.0	
	集水樹 400×400×600	個	19	0.0	19.0	
	集水樹 400×400×600-2	個	1	1.0	0.0	
	集水樹 500×500×700-2	個	4	1.0	3.0	
	集水樹 700×700×700-2	個	1	0.0	1.0	
	集水樹 700×700×800	個	2	0.0	2.0	
	集水樹 700×700×800-2	個	1	0.0	1.0	
	沈砂樹1	個	1	1.0	0.0	
	沈砂樹2	個	1	0.0	1.0	
	塩ビ管 φ300	m	0.9	0.0	0.9	
	塩ビ管 φ400	m	0.9	0.0	0.9	
	重圧管 φ300	m	12.2	0.0	12.2	
	舗装工	区画道路 滑り止め舗装工 (車道)	m ²	3,409.5	238.3	3,171.2
		区画道路 アスファルト舗装工 (車道)	m ²	1,777.9	0.0	1,777.9
		公園、緑地 ガス舗装工	m ²	704.3	0.0	704.3
		植生基材吹付工	m ²	7,363.9	360.1	7,003.8
植生工	防草シート張工	m ²	1,811.3	178.4	1,632.9	
	種子吹付工	m ²	1,051.7	8.7	1,043.0	
	客土吹付工	m ²	456.3	0.0	456.3	
	重力式擁壁 (平均高2.5m)	m	56.8	0.0	56.8	
擁壁工	L型擁壁 (平均高1.75m)	m	435.5	0.0	435.5	
	ガードパイプ	m	336.9	37.0	299.9	
安全施設工	カーブミラー	個	11	1.0	10.0	
	フェンス プラ擬木 二段	m	103.6	0.0	103.6	
	フェンス プラ擬木 三段	m	69.9	0.0	69.9	
	階段工 (幅3.0m)	m	23.9	0.0	23.9	

9 その他の参考となるべき事項

(1) 当該保安林の土地と併せて当該事業等の用に供される土地がある場合における当該土地を使用する権利の種類及び当該権利の取得状況

番号	所在	地目	面積 (ha)	土地を使用する権利の種類	権利等の取得状況	登記名義人
1	石巻市寄磯浜大松17-3	宅地	0.0079	使用承諾	H25.6.10	遠藤 重雄
	小計		0.0079			
2	石巻市寄磯浜大松23	山林	0.0089	使用承諾	H25.6.10	遠藤 一夫
3	石巻市寄磯浜大松15	山林	0.5336	使用承諾	H25.6.10	遠藤 一夫
4	石巻市寄磯浜大松17-1	山林	0.0531	使用承諾	H25.6.10	遠藤 善一
5	石巻市寄磯浜大松10	山林	0.6110	使用承諾	H25.6.10	遠藤 豊勝
6	石巻市寄磯浜大松7-1	山林	0.1748	使用承諾	H25.6.10	崇徳寺
7	石巻市寄磯浜大松13-1	山林	0.5057	使用承諾	H25.6.10	渡邊 淳
8	石巻市寄磯浜大松13-2	山林	0.1513	使用承諾	H25.6.10	渡邊 淳
9	石巻市寄磯浜大松14	山林	0.1960	使用承諾	H25.6.10	渡邊 淳
10	石巻市寄磯浜大松18-1	山林	0.0614	使用承諾	H25.6.10	渡邊 義美
11	石巻市寄磯浜大松22-5	山林	0.0025	使用承諾	H25.6.10	渡邊 義美
12	石巻市寄磯浜大松16-1	山林	0.0036	使用承諾	H25.6.10	遠藤 とく
13	石巻市寄磯浜大松13-3	山林	0.0007	使用承諾	H25.6.10	宮城県
	小計		2.3026			
14	石巻市寄磯浜大松17-4	雑種地	0.0009	使用承諾	H25.6.10	遠藤 善吉 外2名
15	石巻市寄磯浜大松17-5	雑種地	0.0776	使用承諾	H25.6.10	財務省
16	石巻市寄磯浜大松39	雑種地	0.1080	所有権	H16.9.15	石巻市
17	石巻市寄磯浜大松40-3	雑種地	0.0132	使用承諾	H25.6.10	宮城県
	小計		0.1997			
18	石巻市寄磯浜大松17-6	原野	0.0020	使用承諾	H25.6.10	財務省
	小計		0.0020			
19	石巻市寄磯浜大松18-4	公衆用道路	0.0029	所有権	H16.3.10	石巻市
20	石巻市寄磯浜大松40-2	公衆用道路	0.0044	使用承諾	H25.6.10	宮城県
21	無地番道路		0.0245	所有権		石巻市
	小計		0.0318			
	合計	21筆	2.5440			

<p>9 その他の参考となるべき事項</p>	<p>(2) 転用前後の用途別面積 (別紙3 転用後の用途別面積表のとおり)</p> <p>(3) 事業量及び事業の概要 ①事業名称：寄磯浜地区防災集団移転促進事業 ②施行者名：石巻市長 ③施行地区の区域：石巻市寄磯浜大松10外18筆 ④施行面積：25,440㎡ ⑤事業費：416,107,600円 ⑥事業期間：平成25年度～平成27年度</p> <p>(4) 利害関係者の意見 石巻市長の同意を得ている。</p> <p>(5) 土量計算及び残土（又は不足土）の処理方法</p> <p>1) 土量計算の総括表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">土量計算 区分</th> <th rowspan="2">切土 (m³)</th> <th colspan="2">盛土</th> <th rowspan="2">残土 (m³)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>切土転用土 (m³)</th> <th>不足土 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業区域</td> <td>138,740</td> <td>6,730</td> <td>0</td> <td>132,010</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち保安林区域</td> <td>10,370</td> <td>90</td> <td>0</td> <td>10,280</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 残土の処理方法 残土は他の復興事業の盛土材として使用する。</p>	土量計算 区分	切土 (m ³)	盛土		残土 (m ³)	備考	切土転用土 (m ³)	不足土 (m ³)	事業区域	138,740	6,730	0	132,010		うち保安林区域	10,370	90	0	10,280	
土量計算 区分	切土 (m ³)			盛土				残土 (m ³)	備考												
		切土転用土 (m ³)	不足土 (m ³)																		
事業区域	138,740	6,730	0	132,010																	
うち保安林区域	10,370	90	0	10,280																	

(別紙1) 権利の種類・取得状況明細表

番号	所 在	地目	面積 (ha)	使用面積 (h a)	土地を使用する 権 利 の 種 類	権利等の 取得状況	登記名義人
1	石巻市寄磯浜大松23	山林	2.1124	0.0089	使用承諾	H25.6.10	遠藤 一夫
2	石巻市寄磯浜大松13-1	山林	0.9819	0.1177	使用承諾	H25.6.10	渡邊 淳
3	石巻市寄磯浜大松13-3	山林	0.0007	0.0007	使用承諾	H25.6.10	宮城県
	合 計	3筆	3.0950	0.1273			

(別紙2) 事業等に要する経費一覧表

工種	細別	構造規格	数量	平均単価 (円)	金額 (円)
土工	伐開・伐木・除根		25,440 m ²	220	5,596,800
	切土工		138,740 m ³	300	41,622,000
	盛土工		6,730 m ³	290	1,951,700
	運搬工		138,740 m ³	660	91,568,400
	小計				140,738,900
植生工	法面工	法面整形	8,871.9 m ²	680	6,032,892
		植生基材吹付	7,363.9 m ²	3,000	22,091,700
		種子吹付	1,051.7 m ²	200	210,340
		客土吹付	456.3 m ²	1,200	547,560
	防草シート張工	1,811.3 m ²	3,100	5,615,030	
小計				34,497,522	
擁壁工	重力式擁壁	平均高 2.50m	56.8 m	50,000	2,840,000
	L型擁壁	平均高 1.75m	435.5 m	40,000	17,420,000
	小計				20,260,000
舗装工	滑り止め舗装工	車道	3,409.5 m ²	2,800	9,546,600
	アスファルト舗装工	車道	1,777.9 m ²	2,340	4,160,286
	グ래스ト舗装工	公園・緑地	704.3 m ²	3,100	2,183,330
	小計				15,890,216
安全施工	ガードパイプ	GP-C-3E	336.9 m	8,400	2,829,960
	カーブミラー		11.0 基	80,000	880,000
	フェンス プラ擬木	二段	103.6 m	24,700	2,558,920
	フェンス プラ擬木	三段	69.9 m	32,500	2,271,750
	小計				8,540,630
排水工	U形側溝	300A	1,270.5 m	10,600	13,467,300
	U形側溝	300A-2	546.4 m	11,300	6,174,320
	U形側溝	400A-2	112.3 m	13,500	1,516,050
	U形側溝	300A横断用	27.6 m	15,800	436,080
	U形側溝	300A歩道用	18.2 m	9,250	168,350
	ポリコレゲート管	φ300	36.3 m	9,500	344,850
	ポリコレゲート管	φ400	29.2 m	11,500	335,800
	小段水路	A	306.7 m	9,000	2,760,300
	小段水路	A-2	220.2 m	9,500	2,091,900
	小段水路(B)	B	96.7 m	11,000	1,063,700
	小段水路(B-2)	B-2	6.3 m	11,500	72,450
	小段樹	A	15 個	45,000	675,000
	小段樹	A-2	7 個	46,500	325,500
	縦溝	A	111.3 m	7,500	834,750
	縦溝	A-2	20.0 m	76,300	1,526,000
	踊り場水路	A	9.0 m	7,700	69,300
	踊り場水路	A-2	11.8 m	7,850	92,630
	集水樹	300 × 300 × 495	36 個	42,000	1,512,000
	集水樹	300 × 300 × 495-2	22 個	42,500	935,000
	集水樹	400 × 400 × 600	19 個	53,000	1,007,000
	集水樹	400 × 400 × 600-2	1 個	53,500	53,500
	集水樹	500 × 500 × 700-2	4 個	57,500	230,000
	集水樹	700 × 700 × 700-2	1 個	59,500	59,500
	集水樹	700 × 700 × 800	2 個	64,000	128,000
	集水樹	700 × 700 × 800-2	1 個	66,500	66,500
	塩ビ管	φ300	0.9 m	5,650	5,085
	塩ビ管	φ400	0.9 m	6,050	5,445
	重圧管	φ300	12.2 m	15,300	186,660
	沈砂樹 1		1 個	455,000	455,000
	沈砂樹 2		1 個	325,000	325,000
	小計				36,922,970
	階段工	階段工	幅3.0m	23.9 m	85,000
小計					2,031,500
防災施工	素堀側溝	300 × 300	806.0 m	1,230	991,380
	沈砂池	13m × 13m × 1.2m	1 箇所	149,700	149,700
	ポリコレゲート管	φ 300	13 m	3,420	44,460
	小計				1,185,540
直接工事費					260,067,278
諸経費 (6 0 %)					156,040,322
合 計					416,107,600

(別紙3) 転用後の用途別面積表

(単位: ha)

用地の現況 転用後の用途	保安林	山 林	宅地	その他	計	構成比 (%)
住宅用地	0.0000	0.5138	0.0000	0.0000	0.5138	20%
道路用地	0.0291	0.5363	0.0005	0.0591	0.6250	25%
公 園	0.0000	0.1213	0.0000	0.0000	0.1213	5%
造成緑地	0.0982	1.0039	0.0074	0.1744	1.2839	50%
計	0.1273	2.1753	0.0079	0.2335	2.5440	100%
構成比 (%)	5%	85%	1%	9%	100%	

代 替 施 設 計 画 書

記 載 事 項	記 載 注 意																																																					
<p>1 当該代替施設を実施する者が、当該保安林の土地を使用する権利の種類及び当該権利の取得状況</p>	<p>当該代替施設計画は、事業計画に係る施設と一体をなすものである。</p> <p>事業計画書と同じにつき記載を省略した。</p>																																																					
<p>2 代替施設に要する資金の総額及びその調達方法</p>	<p>(1) 資金の総額 172,113,100円</p> <p>(2) 資金の調達方法 復興交付金：172,113,100円（第2回復興交付金 平成24年5月25日交付決定） （第5回復興交付金平成25年3月8日変更交付決定）</p>																																																					
<p>3 代替施設に要する経費</p>	<p>(別紙4 代替施設等に要する経費一覧表のとおり)</p>																																																					
<p>4 代替施設に関する工事を開始する予定の日並びに当該工事の工程及び当該工事により設置される施設の種類・規模・構造及び所在</p> <p>注) 代替施設の計画にあたっては、別添の「開発行為の許可基準の運用について」に示す基準を満たすように計画すること。</p>	<p>(1) 工事の開始及び完了の予定日 全 体 着工 平成26年7月・完了 平成27年3月 保安林部分 着工 平成26年7月・完了 平成27年1月</p> <p>(2) 工事の工程</p> <table border="1" data-bbox="555 1182 1332 1512"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="4">H25 年度</th> <th colspan="4">H26 年度</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>7</th> <th>10</th> <th>1</th> <th>4</th> <th>7</th> <th>10</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>植生工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>擁壁工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">全体 ●——● 保安林内 ◆-----◆</p> <p>(3) 当該工事により設置される施設の種類・規模・構造及び所在</p> <p>(事業計画書の8(3)の当該工事により設置される施設の種類・規模・構造及び所在のとおり)</p>	工 種	H25 年度				H26 年度				4	7	10	1	4	7	10	1	植生工事								●	舗装工事								●	擁壁工事						●	●		排水工事						●		●
工 種	H25 年度				H26 年度																																																	
	4	7	10	1	4	7	10	1																																														
植生工事								●																																														
舗装工事								●																																														
擁壁工事						●	●																																															
排水工事						●		●																																														

<p>5 その他参考となるべき事項</p>	<p>(1) 当該保安林の土地と併せて当該事業等の供される土地がある場合における当該土地を使用する権利の種類及び当該権利の取得状況 事業計画書と同じにつき記載を省略した。</p> <p>(2) 排水施設計画 1) 排水施設流量算出根拠 (別紙5 排水施設の設計のとおり)</p> <p><算出結果> A・B流域については海へ直接放流し、C流域については漁港整備事業により設置される排水施設に放流することとし、上記の計算式で計算した結果 上記の計算式で計算した結果、 A流域：施設能力 (0.329m³/s) ≥ 流出量 (0.269m³/s) B流域：施設能力 (0.134m³/s) ≥ 流出量 (0.062m³/s) C流域(管番41)：施設能力 (0.398m³/s) ≥ 流出量 (0.315m³/s) C流域(管番42)：施設能力 (0.186m³/s) ≥ 流出量 (0.037m³/s) 以上のことから、設置する施設は適正な排水能力を有している。</p> <p>2) 施行中の対策 工事施工中の排水については、事業区域外への濁水等を防止するため、適切な位置に沈砂池、素掘側溝を設置する。 (別紙防災施設設計図の通り)</p> <p>(3) 転用に伴う土砂流出の防止計画 1) 施工中の対策 工事期間中の堆砂量は300m³/ha/年とするが、3ヶ月に1度排砂する計画として設計堆砂量を算出する。(宅地防災マニュアルの解説) 堆砂量 = 造成面積 2.544ha × 300m³/ha × 1/4 = 191m³/3ヶ月 ※事業区域全面積を対象とした。 計画沈砂池容量 = 13m × 13m × 1.2m = 203m³ > 191m³ (別紙防災施設設計図の通り)</p> <p>2) 施工後の対策 海に直接放流する場合は、土砂による影響が広がらないよう放流前に沈砂柵を設ける。 堆砂量は1.5m³/ha/年として計算する。(防災調節池等技術基準(案)) (別紙5 沈砂柵検討書の通り)</p> <p>(4) 流末処理の方法 ① 表面排水 U型側溝等により導水し、流末排水施設に排水する。 ② 流末処理 必要排水断面を確保し、海と既存排水施設に流下させる。 ③ 調整池 県河川課との協議の結果、調整池の設置は必要ない。</p> <p>(5) 切土法面の処理方法 切土法面は、法面勾配1:1.5(地質調査より)植生基材吹付、盛土法面1:1.8とし種子吹き付にて施行し早期緑化に努める。</p>
-----------------------	--

5 その他参考となるべき事項	(6) 他の法令による土地利用の制限					
	種 類	面 積 (ha)	他の法令による 土地利用の制限		土地使用権の種類 及び取得状況	
			法令の名称	許認可年月日	種類	取得状況
	開発許可	2.5440	都市計画法	平成25年8月16日予定 (第11回復興整備計画公表)		
	特別区域内工作物の 新築の許可	2.5440	自然公園法	平成25年8月16日予定 (第11回復興整備計画公表)		
地域森林計画区域 の変更	2.2100	森林法	平成25年8月16日予定 (第11回復興整備計画公表)			
(7) 残置森林、造成森林及び緑地について 造成によって生じる切土法面は植生基材吹付を、盛土法面には種子吹付を 施工し、緑地とする。なお、残置森林及び造成森林は配置しない。						

(別紙4) 代替施設等に要する経費一覧表

工種	細別	構造規格	数量	平均単価 (円)	金額 (円)
植生工	法面工	法面整形	8,871.9 m ²	680	6,032,892
		植生基材吹付	7,363.9 m ²	3,000	22,091,700
		種子吹付	1,051.7 m ²	200	210,340
		客土吹付	456.3 m ²	1,200	547,560
		防草シート張工	1,811.3 m ²	3,100	5,615,030
小計					34,497,522
擁壁工	重力式擁壁	平均高 2.50m	56.8 m	50,000	2,840,000
	L型擁壁	平均高 1.75m	435.5 m	40,000	17,420,000
	小計				
舗装工	滑り止め舗装工	車道	3,409.5 m ²	2,800	9,546,600
	アスファルト舗装工	車道	1,777.9 m ²	2,340	4,160,286
	グラス舗装工	公園・緑地	704.3 m ²	3,100	2,183,330
	小計				
排水工	U形側溝	300A	1,270.5 m	10,600	13,467,300
	U形側溝	300A-2	546.4 m	11,300	6,174,320
	U形側溝	400A-2	112.3 m	13,500	1,516,050
	U形側溝	300A横断用	27.6 m	15,800	436,080
	U形側溝	300A歩道用	18.2 m	9,250	168,350
	ポリコルゲート管	φ300	36.3 m	9,500	344,850
	ポリコルゲート管	φ400	29.2 m	11,500	335,800
	小段水路	A	306.7 m	9,000	2,760,300
	小段水路	A-2	220.2 m	9,500	2,091,900
	小段水路(B)	B	96.7 m	11,000	1,063,700
	小段水路(B-2)	B-2	6.3 m	11,500	72,450
	小段樹	A	15 個	45,000	675,000
	小段樹	A-2	7 個	46,500	325,500
	縦溝	A	111.3 m	7,500	834,750
	縦溝	A-2	20.0 m	76,300	1,526,000
	踊り場水路	A	9.0 m	7,700	69,300
	踊り場水路	A-2	11.8 m	7,850	92,630
	集水樹	300×300×495	36 個	42,000	1,512,000
	集水樹	300×300×495-2	22 個	42,500	935,000
	集水樹	400×400×600	19 個	53,000	1,007,000
	集水樹	400×400×600-2	1 個	53,500	53,500
	集水樹	500×500×700-2	4 個	57,500	230,000
	集水樹	700×700×700-2	1 個	59,500	59,500
	集水樹	700×700×800	2 個	64,000	128,000
	集水樹	700×700×800-2	1 個	66,500	66,500
	塩ビ管	φ300	0.9 m	5,650	5,085
	塩ビ管	φ400	0.9 m	6,050	5,445
	重圧管	φ300	12.2 m	15,300	186,660
	沈砂樹 1		1 個	455,000	455,000
	沈砂樹 2		1 個	325,000	325,000
小計					36,922,970
直接工事費					107,570,708
諸経費(60%)					64,542,392
合計					172,113,100

